

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年11月28日（月）

2 確認箇所

1号機原子炉建屋大物搬入口2階（1号機原子炉建屋3階）

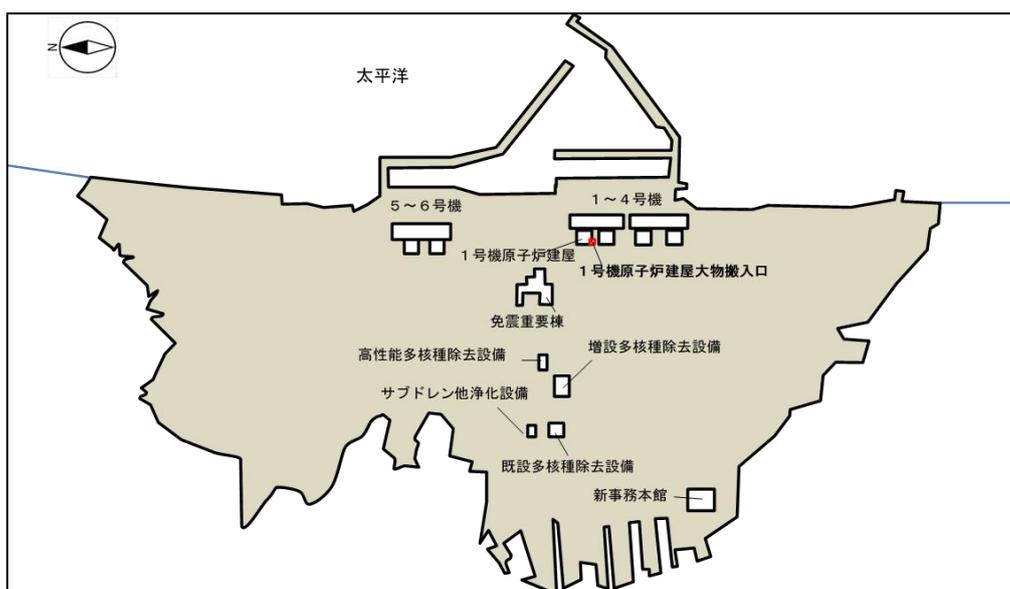
3 確認項目

R C W熱交換器入口ヘッダ配管からの滞留ガスパージ作業状況

4 確認結果の概要

11月16日に開始された1号機原子炉補機冷却系（R C W）熱交換器入口ヘッダ配管からの滞留ガスパージ作業の状況を、11月16日及び11月17日に引き続き確認した。（図1）

- ・現地確認時には、遠隔操作による窒素ガスの封入及び水素ガスのパージ作業が引き続き行われており、遠隔操作室の操作盤やモニタの状況に異常は見られなかった。（写真1）
- ・1号機原子炉建屋内の水素濃度が0.0%、硫化水素濃度が0.0ppm、酸素濃度が20.9%と変動がなく、滞留ガスパージ作業による環境への影響がないことを測定記録により確認した。
- ・また、配管内の滞留ガスの水素濃度が逡減していることを確認した。東京電力では、配管内の滞留ガスの水素濃度が可燃性限界（4%）を下回るまで、滞留ガスパージ作業を継続することとしている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
遠隔操作室内の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。